

カジノ賭博合法化法案の成立に抗議し、その廃止を求める決議

2016（平成28）年12月17日

「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」、いわゆるカジノ賭博合法化法が、12月15日未明に成立した。

私たちは、多重債務問題に取り組むなかで、その背景にギャンブル依存の問題が横たわっていることに気づかされ、ギャンブル依存者支援、そして、ギャンブル依存を生まない社会を作るためにどうするかという視点で運動を進めてきた。

ギャンブル依存者らが蒙っている被害の深刻さ、その回復の困難さに直接触れた私たちからすれば、これまでにないギャンブル被害を生むことが明らかであるカジノ賭博合法化は断じて許すことのできない悪法であり、それゆえに、これに反対するとの意見を繰返し表明してきたものである。

国民の大多数がこれに反対し、また、新聞各紙も例外なく消極意見を表明していたにもかかわらず、これらの声を蔑ろにし、また、市民の懸念に答えることもなく、カジノ賭博合法化を許す法律が制定されてしまったことに、強い憤りを禁じえない。

カジノ賭博合法化法の提案者らは、これによりギャンブル依存対策が進むなどと喧伝するが、ギャンブル依存対策を進める方向性は、パチンコを含む異常な我が国の賭博実態の縮小でなければならず、カジノ賭博合法化はこれとは真逆の政策である。

よって、私たちは、カジノ賭博合法化法の成立に厳重に抗議し、本法の速やかな廃止を求めるものである。

以上

全国クレサラ生活再建問題対策協議会常任幹事会